

霧島市まちづくり公開討論会 ローカルマニフェスト

氏名 鶴丸 明人



I 基本理念(霧島市の現状認識・目指すべき霧島の姿)

(現状認識)

1市6町の合併後4年間の経過しました。合併により、行政経費や人件費の削減が行われるなど、いくつかの合併効果も現れています。しかしながら現在は、一定の地域、施策に偏った予算の使い方になっており、市民の合意が得られないままに(市議会による霧島中央公園整備計画調査費の否決や花火大会にかかる多額の費用等)目先だけをみた行政運営を行っているといった市民の声が非常に強く、行政に対する不信不安が広がっているのではないかと認識しています。このままでは霧島市総合計画の着実な実施も危ぶまれます。

(目指す姿・長期構想)

少子高齢化が進んでいきます。目先でなく未来を見据えながら、地域に偏りのないまち、コンクリートより人を大切にするまちを創っていく必要があります。そのためにも情報を公開しながら税金の無駄遣い(無責任行政)をなくし、信頼できる行政をつくっていきます。そして、子育て、医療、福祉、環境を重視しながら、「霧島市に住みたい」「霧島市に住んでよかった」と思える「暮らしやすさ日本一」の霧島市を目指します。

すぐに行う重要施策 (優先順に3つ)

①国保税の引き下げ

霧島市においては、国保税が県内一高くなっています。議会の理解を得て、鹿児島市・薩摩川内市・鹿屋市並みに引き下げます。同時に、健康診査受診率の向上や地域における高齢者の生きがいづくりの施策など、予防対策を強化します。

②財政改革プランの見直しと情報公開の徹底

暮らしやすい霧島市の実現のためには、まず速やかな行財政改革が必要です。市民目線で財政改革プランを見直し、積極的な取り組みを行うとともに、税金の無駄遣いや偏りのある事業が行われていないかを、行政外部の目で点検できる制度をつくります。そのために必要な情報公開も、徹底していきます。

③幼稚園・保育園・児童クラブ利用料金の負担軽減

経済的問題や保育の問題等、子育てがしづらい現状がまだ多く存在します。子育てに係る支援の一環として、幼稚園の入園料・保育園の保育料・児童クラブの利用料負担の軽減を行います。

4年間で行う重要施策 (優先順に3つ)

①緊急医療体制の充実

脳疾患、心疾患等の緊急医療が不足しており、市外搬送を余儀なくされています。そのため、医療センターを中心とした脳外科、心臓外科、小児科を充実するため、医師の確保および施設整備を行います。

②自治公民館を中心としたまちづくり活性化の取り組み

まちづくりの主役は市民です。市政やまちづくり事業について、ざっくばらんに意見交換ができる「座談会」を行います。積極的な市民参加のもと、地域の課題について市民と行政がともに話し合いながら、それぞれの地域にあったまちづくりをすすめていきます。

③雇用の確保

安心して暮らすためには、まずは安心して働ける環境を整えることが必要です。企業誘致はもちろんですが、農林水産業、畜産業、観光業などの地場産業や、福祉、環境保全の充実に力を入れながら、雇用の場を確保していきます。

〈個別テーマ〉

氏名 鶴丸 明人



①今後霧島における地域経済活性化(景気対策等)の具体策を優先順に3つ挙げてく

①・内容	企業・起業家への支援による活性化	期限	景気回復が見込まれるまで	事業費	2億	財源	一般財源
手段	現在の厳しい経済状況に対応するために、当分の間貸付基準、利子補助の見直しなど、融資保証制度の拡充を行います。						
②・内容	地場産業の育成による活性化	期限	4年	事業費	1億5千万	財源	国交付金・県補助金・一般財源
手段	特産品の開発を含めた地場産業の育成と、販売所の整備、販路拡大のための特産品の市外アンテナショップ(情報発信の場)を設置します。						
③・内容	市街地の整備による商店街の活性化	期限	4年	事業費	3億	財源	国交付金・県補助金・一般財源
手段	市街地活性化計画を実施する。さらに、新たな市街地計画の策定・実施による商店街の活性化を推進します。						

②暮らしやすい霧島を実現するための具体策を優先順に3つ挙げてください。

①・内容	国保税引き下げ	期限	2年	事業費	6億	財源	国交付金・一般財源
手段	現在の課税水準を引き下げるために、一般財源からの繰り入れを行うとともに、繰り入れ基準の策定・予防対策・未納対策・国への制度改正への要望を並行して行います。						
②・内容	行財政改革	期限	2年	事業費	2,000万	財源	一般財源
手段	財政改革プランの見直しと実施、予算点検のための外部監査制度の導入、情報公開の徹底を図ります。						
③・内容	幼稚園等の利用料金負担軽減	期限	2年	事業費	5,000万	財源	一般財源
手段	子育て支援の一環として、乳幼児等の通園に伴う経費の負担を軽減します。						

③上記2つ以外の重要課題を具体策に優先順に3つ挙げてください。

①・内容	障がい者高齢者等にやさしいまちづくり	期限	4年	事業費	8,000万	財源	一般財源・過疎債
手段	通院や介護等に不便を感じる地域の障がい者や高齢者の利便性を図るため、交通手段や運行経路、乗降場所の見直しを行います。						
②・内容	緊急医療体制の充実	期限	4年	事業費	6億	財源	国交付金・県補助金・合併特例債
手段	脳疾患・心臓疾患等緊急な医療対策を、地域内で対応できる体制を充実します。						
③・内容	情報通信基盤の整備	期限	10年	事業費	50億	財源	国交付金・県補助金・一般財源
手段	情報通信網を全域に広げ、災害予報・行政情報・緊急医療網として活用します。						